

財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 始良町

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額 C	標準財政規模 A+B+C
4,806	2,756	391	7,953

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	11,255	10,950	304	290	203	15,650	
一般会計等	11,255	10,950	304	290		15,650	

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入金見込額	備考
水道事業会計	708	588	120	617	-	2,636	8	法適用
国民健康保険特別会計事業勘定	4,884	4,753	131	131	315	-	-	
国民健康保険特別会計施設勘定	93	77	16	16	19	22	-	
老人保健医療特別会計	5,160	5,089	70	70	476	-	-	
介護保険特別会計介護サービス事業勘定	2,829	2,672	157	157	471	-	-	
介護保険特別会計介護サービス事業勘定	26	26	0	0	56	-	-	
簡易水道施設事業特別会計	26	24	2	2	19	249	210	
農業集落排水事業特別会計	71	68	3	3	15	692	503	
土地区画整理事業特別会計	268	267	1	0	129	875	873	
公営企業会計等計						4,473	1,595	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入金見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入金見込額	備考
鹿児島県市町村総合事務組合	17,523	17,362	162	162	2,957	-	-	
始良郡西部衛生処理組合	2,248	2,230	19	19	-	3,915	2,451	
始良郡西部消防組合	808	800	8	8	23	264	140	
始良・伊佐地区介護保険組合	127	103	24	24	-	-	-	
鹿児島県後期高齢者医療広域連合	1,005	933	72	72	-	-	-	
一部事務組合等計					285	4,179	2,591	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債権保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
鹿児島県市町村土地開発公社	△ 153	3,232	6	-	-	-	-	-	
地方公社・第三セクター等計			6	-	-	-	-	-	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		446	
減債基金		89	
その他充当可能基金		1,680	
充当可能基金計		2,215	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	4.23	3.64	△ 0.59	△ 13.76	△ 20.00	水道事業会計		87.7	
連結実質赤字比率		16.18		△ 18.76	△ 40.00	簡易水道施設事業特別会計		44.5	
実質公債費比率	15.5	13.3	△ 2.2	25.0	35.0	農業集落排水事業特別会計		23.9	
将来負担比率		101.5		350.0		土地区画整理事業特別会計		0.0	
財政力指数	0.54	0.56	0.02						
経常収支比率	91.4	89.9	△ 1.5						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律△20%である(公営競技は0%)。